

夏休み
スペシャル企画!

2018年夏季特別展

赤と青の「みみこ」

聖なる色のミステリー



6.30 SAT ▶▶ 8.26 SUN

MIHO MUSEUM

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300 TEL.0748-82-3411 <http://miho.jp>

主催: MIHO MUSEUM、 京都新聞 後援: 滋賀県、滋賀県教育委員会、NHK 大津放送局、 NHK Utsunomiya放送、エフエム京都

左: ペス神形容器 エジプト 前7-前6世紀 MIHO MUSEUM蔵 右: みみづく土偶 縄文時代後期 重要文化財 辰馬考古資料館蔵(撮影: 藤森 武)

クイズに
チャレンジしよう!

ナゾ解きの
クイズラリーに
参加した方には
プレゼントを
差し上げます。

と
美術品のナゾを解いて

あか
赤と青のひ・み・つ
み
を見つけよう!

古代の
スポーツ用品だよ!
どんなスポーツ
だったと思う?



ユーゴ
メキシコ 600-900年



あしつきうんもんじはい
脚付雲文耳杯
中国・前漢時代
前206-後9年



はにわぶとうじんぶつ
埴輪 舞踏人物
古墳時代 6世紀



みみづく土偶
余山貝塚(千葉県銚子市)
縄文時代後期後葉
前1300年頃
重要文化財
辰馬考古資料館



けんざんいろえ たつ たがわ ず
乾山色絵竜田川図
むこうづけ
向付
江戸時代 18世紀



ねごろへいし
根来瓶子
室町時代
14-15世紀



わたし
私の名は
〇〇!
ころもいろぬめかた
衣の色の塗り方に
ヒミツがあるぞ。

だるま ず じゃくちゅうひつ
達磨図 若冲筆
江戸時代 18世紀

むかしむかし、クレヨンも色えんぴつもなかったころのお話です。そのまたむかし、おおむかし、「色」に名前がなかった時代がありました。なんだか買ったばかりのぬり絵みたいな世界ですって? いえいえ、おおむかしでもやっぱり、空に山に、花に鳥に、魚に虫に、いろんな色がついていました。そして、どの色も、季節や天気や時間によって少しずつ違う色に見えたはずで、自然は無限の色であふれています。おおむかしの人びとにとって、色はいつも自然の中にあつた。そして、何かに色をつけたくなつたとき、山や野にある、色の土や石を使つたのです。あらあら、ここには赤や青のものがいっぱい! おおむかしの人びとはどんな気持ちで色を見ていたのでしょうか? どうして、赤や青にしたのでしょうか?

青のナゾをとく
カギ

青ゾーンでは、古代の人びとがラピスラズリやトルコ石、翡翠など、聖なる青い石にあこがれて繰り広げた様々な挑戦の跡を追ってみよう!

赤のナゾをとく
カギ

赤ゾーンでは、鉱石を砕いて作った「辰砂」や「ベンガラ」など、聖なる赤い粉(赤色顔料)に託された古代の人びとの思いを想像してみよう!

まいにち
毎日の
わくわくコーナー

いつでも展示室のなかで、体験できるよ! 予約はいりません。

赤と青で変身してみよう

古代の人のように赤でフェイス・ペインティングをしたり、青い石のアクセサリーをつけたりするとどんな気分になるのかな?

赤と青につつまれてみよう

赤いマントや青いマントを着て、真っ赤な部屋や真っ青な部屋に入ってみよう。どんな気分になるのかな?



がた
ハトホル形ペンダント
エジプト 前16-前11世紀

かばぞう
河馬像
エジプト
前21-前17世紀



とうぶ
ファラオ頭部
(おそらくアメンホテプ3世)
エジプト 前1401-前1363年

わたし
私はファラオ。
エジプトの王だ!
わたし
私は何でできているか
分かるかね?



さかながたようき
魚形容器
東地中海地域あるいはイタリア
1世紀

“ラジュヴァルディナ!”
この言葉の謎が解けたら
若は色博士だ。



きばじんぶつもんよう
騎馬人物文様
タイル
イラン・イル・ハーン国
13世紀

せいかりゅうもんじはい
青花龍文耳杯
中国・明時代 16世紀

せいまがたま
ガラス製勾玉
5-6世紀



ぎょくくりぞうがんだいこう
玉琉璃象嵌帯鉤
中国・東周時代 前4-前3世紀



お気に入りの
赤と青
大ばしゅう!!



こそめつけかちょうもんひらばち
古染付花蝶文平鉢
中国・明時代 17世紀

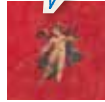
お気に入りの
赤か青のアイテムを
持ってきてくれた方には
プレゼントを差し上げます。
(無くなり次第終了)

《土日のわくわくコーナー》

ぼくといっしょに遊ぼうよ!

展示ツアー

“赤と青のひ・み・つ” わくわくどきどき探検ツアー



この夏、赤と青のひみつに出会える大チャンス!!
MIHO MUSEUMで一緒に冒険してみませんか?

開催日：7月22日(日)、29日(日)、
8月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)
開始時間：各日 11:00、13:00、14:00
ツアー時間：約30分 対象：5歳～高校生 参加費：無料
入館料：子どもは無料。引率の大人は2名まで無料。
◆要予約◆ 下記の要領でお申し込みください。

ワークショップI 色石のアクセサリー作り

赤や青の天然石などをちりばめて
自分だけのネックレスや
ストラップを作ります。



開催日：7月7日(土)、21日(土)、8月18日(土)

ワークショップII パピルス紙のコースター作り

古代エジプトでも使われていた
本物のパピルス紙を使って
素敵なコースターを作ります。



開催日：7月14日(土)、8月4日(土)

ワークショップI・IIとも

開催時間：午前の部10:30～12:00
午後の部13:30～15:30

※随時受付(受付終了時間：午前の部11:45 午後の部15:15)
所要時間：約20分 開催場所：北館展示室回廊 対象：小学生以上、
(保護者同伴の場合未就学児参加可能) 材料費：200円(入館料別途要)
予約はいりません。直接ワークショップ会場にお越し下さい。

《特別な日のワークショップ》

赤と青のめぐり合わせ

草木染めによる絹の布を使った感性のワークショップ
展示ツアーの後、参加者全員で様々な夢の回廊を作ります。

講師：青島左門氏(美術家)
開催日：7月28日(土)、8月11日(土)、8月25日(土)
開催時間：13:00～15:00 対象：小学生～大人まで
参加費：1,000円(入館料別途要、草木染の小布プレゼント)
定員：20名
◆要予約◆ 下記の要領でお申し込みください。



高校生の手作りワークショップ —草木染めと小物づくり—

古代より天然染料として用いられてきた貴重な植物、ムラサキを育てている八日市南高校の学生さんと一緒に、その手作り染料で布を染め、素敵な小物を作ります。



講師：滋賀県立八日市南高校の先生と学生さん
開催日：7月27日(金)、8月8日(水)
開催時間：午前の部11:30～12:10
午後の部12:20～13:00
所要時間：約40分 対象：小学生～大人まで(小学生は保護者同伴)
材料費：500円(入館料別途要) 定員：各回10名
◆要予約◆ 下記の要領でお申し込みください。

◆お問い合わせ＆ご予約方法◆ (詳しくはHPをご覧ください。http://miho.jp)

開催日の1週間前までに、下記の内容をメール/FAX/電話のいずれかにてお知らせ下さい。

- 参加希望のプログラム名
- 参加希望日時
- 代表者名および連絡先
- 参加人数(中学生以下の方は学年または年齢)

メール information@miho.jp

FAX 0748-82-2834

電話 0748-82-8036(教育普及) 0748-82-3411(代表)



秋季特別展 I :9月8日(土)～10月8日(月・祝)

「アメリカ古代文明 —超自然へのまなざし—」

「仮面」
オルメカ BC900-BC600 翡翠

次回予告

秋季特別展 II :10月20日(土)～12月2日(日)

「近代の茶杓百選

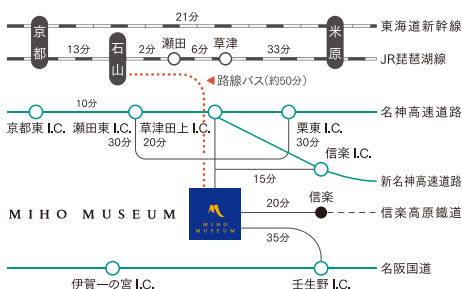
—数寄者の手すざびとその交流—(仮称)

「茶杓 銘年暮」
益田鈍翁作 昭和13年(1938) 個人蔵



アクセス

タクシー利用：JR「石山」・「瀬田」・「草津」各駅より35分、信楽高原鉄道「信楽駅」より20分
高速道路利用：新名神「信楽IC」より15分、「草津田上IC」より20分、名神「栗東IC」/京滋バイパス「瀬田東IC」より各30分、名阪国道「壬生野IC」より35分



交通 ※バス時刻は変更されることがあります。

平日	9:10	10:10	11:10	12:10	13:10
JR琵琶湖線 石山駅 発 ▶ 帝産バス「MIHO MUSEUM 行き」(所要時間50分)					
土日祝	9:10	9:50	10:10	11:10	12:10 13:10 14:10
MIHO MUSEUM 発 ▶ 「JR 石山駅 行き」	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00 16:07 17:14
信楽高原鉄道 信楽駅 発 ▶ 「田代・畑・陶芸の森ルート」(所要時間20分)	10:50		14:50		
MIHO MUSEUM 発 ▶ 「信楽駅」方面	11:10	12:20	13:30	15:10	

会場

主催 MIHO MUSEUM、**京都新聞**

後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、**NHK** 天津放送局

朝日放送、エフエム京都

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時まで)

休館日 月曜日 ※7月16日は開館、7月17日は休館

入館料 一般1,100円、高・大生800円、小・中生300円

(20名以上の団体は各200円割引)

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300
Tel.(0748)82-3411 Fax.(0748)82-3414
http://miho.jp(パソコン、携帯電話共通)

MIHO MUSEUM